

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後デイサービスいっばいば丸塚		公表日		2026年 3月 25日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	園庭もありのびのびとできる環境にある。	ブレイルームと小ブレイルームがあり、カーブミラーを設置することにより 一目で見渡せる空間となっている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	1	法令上必要な配置は確実にできています。	不足なく人数の配置はなされているも、支援を考えると職員数を増やしたいと感じることもある。送迎等により、職員が足りない時間帯はあ	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	必要に応じて日程やタイマーなど視覚支援を活用している。また、車いすでも活動できるように工夫している。	ブレイルームが2つあるため、伝達等が伝わりにくいことがある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	支援終了後に毎日掃除と環境チェックを実施している。個別で関われる部屋のゾーニングができています。	継続して実施してまいります。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	適宜、こどもの状態に合わせて安静室を利用できている。宿題等は 学習室が有るので集中しやすい環境に有る。	継続して実施してまいります。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	事業所全体会議への参加率も高くある。LINE ワークス等でも 個々に発信もされている。	継続して実施してまいります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	評価表以外にも、適宜アンケートを実施し、業務改善につとめている。会議で 周知徹底されている。	継続して実施してまいります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	アプリツールを使用して、随時意見を出せる環境にある。また全体会議でも欠席者の意見も事前に聴取し、誰もが意見を出せる環境作りにつとめている。会議等で 皆んなの意見を発言出来る意見交換等で話し合っている。	継続して実施してまいります。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	2	わからない。	継続して実施してまいります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	法人内でも年間で研修日が決定しており、外部の研修も随時案内している。	継続して実施してまいります。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	偏りがないように目的にあったプログラムを作成し、アプリツールにて公開している。	継続して実施してまいります。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	スモールステップを随時更新し、現状の課題を明確にしている。	会議や研修等、常に専門性を高める努力を継続していく。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	目標を全体へ共有し、意見を出し合い、随時更新している。	継続して実施してまいります。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	アプリツールにて共有している。	継続して実施してまいります。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	ABAを用いたケース会議を実施した。	継続して実施してまいります。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	面談の内容をもとに、目標を設定している。支援目標および具体的な支援内容は、職員全体に周知されている。	継続して実施してまいります。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	基本的に常勤内で話しあい決定し、非常勤職員の意見も取り入れて行っている。	継続して実施してまいります。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	こどもたちの課題に合わせて随時更新している。継続されるべき項目もあり、随時見直しを行っている。	継続して実施してまいります。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	日々の活動の中に、どちらも組み込んで実施している。	継続して実施してまいります。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	口頭で共有が難しい日もあるが、掲示物にて共有し、連携できている。	継続して実施してまいります。	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	毎日全体での振り返りは難しいが、事務所にいる職員間で振り返りを行い、共有し、次に進む対応を検討している。	時間の設定を工夫し、今後改善にむけて実施していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	手書きにて記録し、個別のファイルに保管している。	継続して実施してまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	半年に一度は見直しを行い、適宜目標の見直しを実施している。	継続して実施してまいります。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7	0	実施している。	継続して実施してまいります。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	子どもの自主性を大切にしながら、支援することを大切にし支援している。活動の中 お当番を子供達が自発的に ジャンケン等で決めてやってくれており、リーダーシップをとっている。	継続して実施してまいります。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	基本的に児発管が参加している。	継続して実施してまいります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	学校、相談支援事業所とは密にやりとりしている。	継続して実施してまいります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	掲示板を使用し行事予定を把握するとともに、適宜電話にて連携をとることもある。学校の伝言板に発信しているのを写真で撮って共有している。	継続して実施してまいります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0	就学前にあらかじめ児童発達支援に出向き、状況を見学している。	継続して実施してまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0	情報提供書をお渡しし、情報共有している。	継続して実施してまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1		継続して実施してまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	4		今後、必要に応じて実施を検討します。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2		継続して実施してまいります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	随時、電話やアプリツールを使用して伝達し、送迎時にも必要に応じて情報共有している。	継続して実施してまいります。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	アプリツールを使用して、適宜研修の案内をしている。	ささいな事でも、気軽に相談していただける関係を築き、より効果的なペアレントトレーニングを提供できる事業所となれるよう継続して努めていく。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時に説明している。	今後もより丁寧な説明に努めていく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		継続して実施してまいります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		継続して実施してまいります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	事前面談を実施し、保護者のご希望やお困りごとなどを把握するよう努めている。また、随時なんどきでも相談できる体制を整えている。	継続して実施してまいります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	6	1	月に1度、保護者交流の場を設けている。	継続して実施してまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	LINEや電話にていつでもご連絡いただける体制を整え、迅速に対応できるよう努めている。	継続して実施してまいります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	アプリツールを使用して発信している。	継続して実施してまいります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	鍵付き書庫に保管し、全職員が個人情報保護について学ぶ機会を設けている。	継続して実施してまいります。

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	子どもや保護者に分かりやすい言葉での説明を心がけるとともに、視覚的な情報を用いながら、意思疎通がしやすいように配慮している。	継続して実施してまいります。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5		地域住民を招待する行事は行っていない。今後、必要に応じて実施を検討します。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	月に1度、さまざまな想定をした避難訓練を実施している。	継続して実施してまいります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	職員間で研修・実践を行い、実際の動きや役割を確認している。	継続して実施してまいります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	職員に共有するとともに、事務所内にも掲示している。	継続して実施してまいります。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	食物アレルギーのある子どもについては、医師の指示書に基づき、職員間で情報共有を行い、対応している。	継続して実施してまいります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	安全計画を作成し、安全管理に関する研修や訓練を実施するなど、安全に配慮した支援を実施している。	継続して実施してまいります。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	安全計画に基づく取り組み内容を保護者へ周知し、こどもの安全確保について連携が図られるよう努めている。	継続して実施してまいります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	アプリツールを使用して、基本的に当日中に共有し、対策を検討している。	継続して実施してまいります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	虐待防止に関する研修を全職員が受講できるような機会を確保している。参加できなかった職員には情報伝達を実施している。	継続して実施してまいります。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	現状、身体拘束を実施している子どもはいませんが、必要な場合の対応においては、組織内にて共有できている。	継続して実施してまいります。	